

地区の概要(H27国勢調査参考)		
面積(k㎡)		14.21
人口(人)	総人口	9,125
	15歳未満	1,327
	15～64歳	4,921
	65歳以上	2,877
高齢化率(%)		31.5
就業人口(人)	第1次産業	111
	第2次産業	550
	第3次産業	3787
世帯数(世帯)	総世帯数	3,843
	高齢者のみ	1,039
行政区数(区)		21
学校		本渡南幼稚園、本渡南小学校、天草高等学校
文化財・史跡		(国指定)祇園橋、天草四郎陣中旗 (国登録)天草文化交流館 (県指定)山口の施無畏橋 (市指定)染岳の霊場、本渡南の梵字板碑と礎石、尾越の板碑、諏訪神社の大蘇鉄 (その他)木山弾正の墓、淡島神社、天草の乱激戦の跡、殉教戦千人塚
その他地域資源		城山公園、十万山、南公園、本渡諏訪神社、染岳観音院、本渡中央銀天街、しろう天草観光朝市
地域伝統芸能		天草桜まつり、天草ほんどハヤ祭り、 諏訪神社秋の例大祭(本渡の市)、 八坂神社例大祭
地域づくり団体		本渡南地区振興会



十万山から望む本渡南地区の市街地

地区のいいところ・自慢できるところ	
○地域の中心には昔ながらの商店街を擁している。 ○市役所、市民センター、図書館などの行政機関をはじめ、法務局や税務署など公共施設等の大部分がこの本渡南地区にあり、行政・経済・文化の中心となるところである。 ○本渡南地区の全住民を対象に行った住民意識アンケートの結果によれば、地区の強み(良いところ、他にないもの)としては、「伝統の祭りや行事がある」をあげる人が25. 0%で最も多く、次いで「川や森などの自然が豊か」が22. 2%、「ご近所同士の助け合いがある、人情がこまやか」が21. 5%となっている。	
地区が抱える課題・困っていること	
○地区振興会が発足して10年以上が経過し、大運動会等の主催事業については、地域住民に徐々に浸透してきていると感じているが、地区振興会発足以前から、地域内の行政区(21区)では、区長を中心として、敬老会や地区運動会、スポーツ大会などの各種行事を行っており、それらの行事との兼ね合い、また人口・世帯数が多くアパート等短期入所者も多い中で、地区住民の総意を今後どのようにして反映させるかが、今後の課題と考えている。 ○住民アンケートの結果によれば、地区の弱み(良くないところ、心配なところ)としては、「少子高齢化が進んでいる」をあげる人が39. 3%で最も多く、次いで「地域の行事に無関心な人が増えた」が16. 7%となっている。	

◇◆◇ まちづくりの目標 ◇◆◇

テーマ	住民参加で築く安全・安心で活力あるまち
考え方	高齢化が進展し、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加しています。また家族の外出などにより、屋間一人暮らしの状態になる高齢者もいます。こうした高齢者や障がいのある人などが、安心して暮らせるように、地域の人同士が支えあい、見守りあっていくまちにします。 また、若い世代が定住し、安心して子どもを生み育てることができるような施策に対し、行政と連携していきます。

◇分野別に考えられる地区の現状や課題、特徴及び今後の方向性等と、課題の解決や特徴を伸ばすための基本方針

分野別	現状・課題・特徴・方向性等	基本方針
【A】 産業 経済	・少子高齢化の影響や、隣接地区での郊外型大型商業施設の立地、宅地開発等があり、相対的に中心市街地・まちの賑わいは低下している。 ・人口・世帯数ともに多く、住民の総意を反映させるのが難しい状況である。	・地域を活性化させる手段として、地域振興の中心となり、様々な活動を行う。 ・具体的には先進地視察研修を実施し、まちに賑わいを取り戻す対策や区の加入率増加対策など同じ問題に直面する地域と情報を共有し、改善を図ります。 ○先進地視察研修
【B】 観光 ・ 文化	・地区に伝わる伝統文化を継承する後継者が育たない。 ・地域の美しい自然を守り活かしていく必要がある。	・鯉のぼりや七夕飾りを実施し、伝統文化の継承を図ります。 ・ホテルの里づくりを実施し、美しい景観の継承を図ります。 ○鯉のぼり事業 ○七夕飾り事業 ○山口ホテルの里づくり事業
【C】 地域 振興	・年々人口が減少し、少子化に歯止めがかからない。 ・高齢化の影響や共稼ぎ世帯の増加等により、事業への参加者が固定化されつつある。	住民相互の親睦と融和を深めると共に地域の活性化を行うため、住民が気軽に楽しく参加できる活動等を実施します。 ○各種スポーツ大会の実施
【D】 教育	・住民一人ひとりが生涯を通じて学ぶことができるような取り組みを行う必要がある。 ・これまで、公民館主催事業として老人大学を実施していたが、再編により事業が縮小される中で、持続可能な取り組みを行う必要がある。 ・小学校の児童数も減少し、地区単位での行事参加に支障が出ているところがある。	・地区公民館と協力して、老人大学の一部を地区振興会の主催事業として行い、高齢者の学習の機会の確保に努めます。 ・地域内にある6園合同による就学前児交流活動を行ない、「小1の壁」を打開できるように取り組みます。 ○老人大学の実施 ○就学前児交流活動の実施
【E】 保健・医療 ・福祉	・高齢化が進み、高齢者の単身世帯や高齢者のみの世帯が増えている。	・地域に住む高齢者が安心して生活できるよう、住民同士の触れあいや支えあいを進め、高齢者が安心して暮らせる環境の整備を行います。 ・自立した男性づくりに取り組むための活動も行います。 ○各年齢層の料理教室の実施 ○健康体操の実施(宝島体操講習会) ○サロン体験交流会
【F】 生活環境 ・ 防災防災	・地域内にコンビニ等、夜間営業を行う店が増えてきている。 ・住民意識アンケート調査によると、68.3%の人が自然環境のよさや伝統的な祭り、ご近所同士の助け合い、人情のこまやかさなどの点から「住みやすい」と回答している。今後も今よりも住みやすい地域の環境整備を行っていく必要がある。	・未来を担う子ども達が安心して暮らすことができるように、地域で見守り活動を行い、子育て環境の整備、充実を図ります。 ○地域みまもり隊事業 ○資源物回収支援活動 ・今後も住みやすい地域環境整備を行うため、一日一汗運動や災害炊き出し訓練等を実施し、住民同士が安心して暮らすことができるように取り組みを行います。 ・十万山公園等の環境・景観の保全を行政と協働し行っていきます。 ○十万山公園等環境保全事業

本渡南地区振興計画 行動計画

①引き続き実施する事業

分野別	事業名	具体的事業内容	目標数値	実施期間					実施主体	備考
				短期				長期		
				H31	H32	H33	H34	5年以上		
A	区長会・地区振興会先進地視察研修事業の実施	まちづくりや環境問題、地域づくりに取り組んでいる地域を視察し、南地区の今後のまちづくりを考える一助とする。	年1回実施						振興会	
A	まちづくり研修会事業の実施	講演会を行ない、まちづくりや自然災害への対応方法などをテーマとして講演会を実施する。	年2回実施						南三区	
B	町山口川に泳ぐ鯉のぼり事業の実施	4月下旬から5月上旬にかけて、約100匹の鯉のぼりを泳がせる。多くの人に見てもらえるように地区振興会だより等を通じて周知を図る。	年1回実施						中山口区	
B	七夕飾り事業の実施	7月上旬に実施する。南小児童の願いごとを書いた短冊を作成してもらい、七夕飾りを行なう。多くの人に見てもらえるように地区振興会だより等を通じて周知を図る。	年1回実施						中山口区	
B	山口ホテルの里づくり事業	5月にホテルの観賞会を行う。町山口川(溝端地区付近)の草刈、清掃等を実施する。	年1回実施 観賞者500名						山口4区	
C	グラウンド・ゴルフ大会の開催	5月に区や老人クラブ対抗での団体戦、個人戦の種別で開催する。参加者が増えるように振興会だより等を通じて周知を図る。	参加者170名 30チームの参加						振興会	
C	ソフトボール大会の開催	7月に区対抗で開催する。参加者が増えるように振興会だより等を通じて周知を図る。	8チームの参加						振興会	
C	親子ナイタードッジボール大会の開催	夏休みに開催する。参加者が増えるように南小PTAや地区振興会だより等を通じて周知を図る。	8チームの参加						振興会	
C	大運動会の開催	11月の第2日曜日に開催する。寄付金や参加者が増えるように区長や体育推進委員と協力して取り組みを行う。	参加者1,000名						振興会	
C	ミニバレーボール大会の開催	2月に区対抗でフリーの部、40歳以上、60歳以上の部の種別で開催する。参加者が増えるように振興会だより等を通じて周知を図る。	25チームの参加						振興会	
C	歩け歩け大会の開催	3月に開催する。参加者が増えるように南小や地区振興会だより等を通じて周知を図る。	参加者100名						振興会	
D	老人大学日帰り研修の開催(生涯学習)	これまで行なっていた日帰り研修は地区振興会主催で行い、その他の講座については、地区公民館と協力して取り組みを行なう。	年1回実施 参加者50名						振興会	
D	就学前児交流活動	南小体育館で開催し、ゲームや歌を取り入れた遊びを通して、他の園の園児と交流を図り、小学入学がスムーズになりように取り組むを行う。	年2回実施						振興会	

E	料理教室の開催	男性や、親子、子どもを対象とした料理教室を行う。	年4回実施							振興会	
E	宝島体操講習会	天草保健所で開発された「天草宝島体操」を知っていただき、区民の健康づくりを目的として行う。	参加者50名							協働	
F	地域みまもり隊事業	小学校の登校時に主な交差点でのみまもりを行う。また防犯グッズの購入や地域安全マップの見直しなども行う。	交通事故ゼロを目指す。							振興会	
F	資源物回収支援活動	多くの方に協力してもらえるように、チラシの配付や振興会だより等を通じて周知徹底を図る。	年1回実施							振興会	
F	子ども育成講演会事業	講演会を開催する。	年1回 参加者700名							振興会	
F	一日一汗運動	年1回、区が中心となって、地域の状況に合わせた計画を立てて実施する。参加者が増えるように区での回覧や地区振興会だより等を通して周知を図る。	参加者700名							各区	
F	防災炊き出し訓練	婦人会と協力し、毎年3月の火災予防週間にあわせて実施する。炊き出しとあわせて、消防署員の講話やAED操作方法の説明、消火訓練等を行う。	参加者100名							振興会	

※実施主体は「主体的に事業を実施する団体(振興会、区、PTA等)」、「協働」、「行政」を記載。

※「協働」とは「地域と行政との協働」、「行政」は「市」を指す。

②新たにに取り組むべき事業

※「協働」とは「地域と行政との協働」、「行政」は「市」を指す。